

令和 6 年度関東地区都県立図書館館長会議 聴取事項調査票

提案館名：県立長野図書館

1 聴取事項

都県下の「図書館大会」の開催の有無、開催状況、課題・今後の展望等について

2 提案趣旨

長野県では、長野県図書館協会主催による図書館大会を年 1 回開催しています。
 図書館関係者の館種を越えた一体的な学びの場、県民が図書館に親しむきっかけづくりとして、74 回の歴史を重ねてきました。
 コロナ禍において集合と分散（サテライト会場をオンラインで接続）のハイブリッドで開催するなど、工夫してきましたが、年々負担感が増し、一般県民の参加数も減少傾向にある中で、図書館大会の目的やあり方を再検討することになったため、各都県の状況をご教示いただきたく、よろしくお願いいたします。

3 提案館の現状（添付資料あり）

- 開催主体
 - ・主催：長野県教育委員会、長野県図書館協会
 - ・共催：開催地の市教育委員会、長野県高等学校図書館協議会、公益社団法人信濃教育会、開催地の校長会
 - ・後援：長野県市町村教育委員会連絡協議会、長野県小学校長会、長野県中学校長会、長野県高等学校校長会、長野県 PTA 連合会、長野県社会福祉協議会
- 企画・運営主体
 - ・長野県図書館大会企画運営委員会（委員長：長野県図書館協会会長、委員：県立長野図書館、長野県教育委員会関係者、当該年度の開催地関係者、次回開催地関係者、次々回開催地関係者を含む）
 - ・地元実行委員会（委員長：開催市の教育長、委員：開催地関係者、県立図書館から 2 名程度参画）：
 - ※実質的な企画・運営は実行委員会が中心になって行う。企画運営委員会は承認する形
 - ※地域別の 14 支部で持ち回り。14 年毎のため、前回の経験者は殆どいない。実際の開催場所は支部内で調整。8 年に 1 度北信越地区学校図書館研究大会を併催
- 大会テーマ
 - ・企画運営委員会で統一テーマを決めた年もあるが、原則として地元実行委員会が提案
- 基調講演者
 - ・企画運営委員会が提案した年もあるが、原則として地元実行委員会が提案
 - ※一般県民の関心を高めるため、著名人を基調講演者にすることが多い
- 分科会
 - ・コロナ以前：分科会数は 12～14。会場として地域の小中学校の教室を使用
 - ・コロナ以降：サテライト会場を組み合わせたハイブリッド開催のため、2～5 に縮小
 - ※令和 6 年度は 5 年ぶりに集合のみの開催予定